

令和2年3月4日

福知山市議会議長 芦 田 眞 弘 様

予算審査委員会委員長 野田勝康

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第144号 令和元年度福知山市一般会計補正予算（第5号）

2 審査の概要

2月27日に質疑、討論、採決を行いました。延べ5人の委員から大きく14項目の質疑がありました。

初めに、福知山市教育情報化整備事業について、「事業のふく内容と効果」を問う質疑があり、「市立小中学校の普通教室及び特別教室に高速大容量の通信ネットワークを構築し、ICT教育の学習環境を整備するものである。これにより、コンピューター室に限らず、場所や時間などの制限を受けることなくICTを活用した教育活動が可能となる。その結果、調べ学習の質の向上やプログラミング教育の充実化をはじめ、一人一人の子どもに合わせた教育、教科の枠を超えた問題解決型の学習の実現などが期待できる。なお、教育の効果については、一定の時間をかけて、指導者の育成も含め、長期的に考えていく必要がある」との答弁がありました。また、学校ごとの積算根拠がわかる資料の請求があり、詳細な資料の提供がありました。

次に、ため池等農地災害危機管理対策事業について、「ハザードマップの作成状況」を問う質疑があり、「市内には防災重点ため池が93池あり、令和元年度までに48池について作成した。残りの45池のうち、16池は今回の前倒し補正予算にて実施し、29池は令和2年度当初予算にて実施する予定である」との答弁がありました。続いて、「ハザードマップの配布対象」を問う質疑があり、「今回の16池については、11自治会が対象となり、各戸に配布する。また集会所等に掲示する予定である」との答弁がありました。

次に、平成30年度の豪雨や台風により被災した土木施設災害復旧事業について、「復旧の見通し」を問う質疑があり、「災害査定箇所数は全体で252件あり、内訳は、検査

が完了している案件が 9 2 件、契約済みで工事を進めている案件が 6 4 件、契約済みで繰り越す案件が 4 4 件、今回の議決後に契約する予定のものが 5 2 件である。本年 3 月末時点で、全体の約 6 5 %が完成する予定である。今回の前倒し補正予算により、発注を早期に行いたい」との答弁がありました。続いて、繰越理由が工事の入札不調によるものについて、「契約予定は 3 月となっているが、さらに入札不調になる恐れはないか。また、この場合の契約のリミットはいつか」を問う質疑があり、「事業者が応札しやすいフレックス工期の制度を活用するとともに、金額規模に応じた適正な工期を示して入札する予定である。契約のリミットは、令和 2 年度内に標準工期が確保できる時期までであるが、まずは 3 月中の契約成立を目指していきたい」との答弁がありました。

次に、橋りょう長寿命化対策事業について、「橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕のうち、今回該当する橋りょうの詳細」を問う質疑と資料請求があり、「平成 2 6 年度から 5 年間にわたり点検を実施した結果、国の健全度判定区分に基づき 4 段階に区分した。判定区分 4 にあたる「緊急措置段階」に該当する橋りょうはなく、判定区分 3 にあたる「早期措置段階」の 4 2 橋のうち、既に設計済が 7 橋、令和元年度当初予算で 6 橋を予定しており、今回前倒し補正予算に該当するものは、塩坪橋など 2 0 橋である」との答弁と詳細な資料の提供がありました。

次に、討論を行いました。

反対

なし

賛成

- ・今回の前倒し補正予算は、国の予算の成立に伴うもので、国際大会開催の準備、橋りょうの安全確保、ため池の防災対策、公共交通維持への支援、学校教育における情報環境の整備、平成 3 0 年豪雨災害の復旧など、いずれもビッグプロジェクトや市民の安心安全な暮らし、時代を担う子どもたちへの投資という点で重要な予算であり、早期に成立させて、新年度に向けて速やかに実行する必要がある、賛意を示すものである。

また、審査資料の追加請求については、速やかに対応して提示いただいたことに感謝するが、今後は資料配布の段階から、より詳しいわかりやすい資料を求める。

3 審査結果

- ・議第 1 4 4 号 全員賛成で原案可決